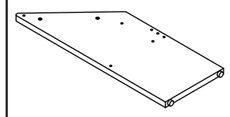
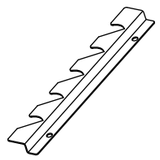
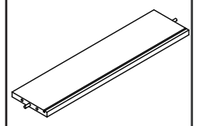
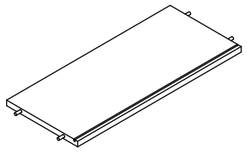
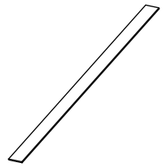
木製新聞掛け　取扱説明書

組立部材一覧

■お買い上げありがとうございます。
組み立て前に組立部材一覧をご確認下さい。

部材名	①側板	②ビス	③新聞ホルダーフック	④ビス大	⑤ビス小	⑥前板1
部材				⑥前板1に取付済	⑧スチールパイプに取付済	
	左右各×1	×4	×2	×4	×4	×1

	⑦前板2	⑧スチールパイプ	⑨底板	⑩新聞ホルダー	⑪組立ナット
部材					⑥前板1に取付済 ※大変外れ易いのでご注意ください。
数量	×1	×2	×1	×5	×4

⚠ 注意

- ■プラスドライバーをご用意ください。
- ■手を切らないよう軍手をして組立ててください。
- ■指を挟まぬよう気を付けてください。
- ■作業するときは柔らかい布を下に敷いてください。
- ■ボルトの締め付けは十分に行ってください。
- ■組立中に横から無理な力をかけないでください。
- ■電動工具は使用しないでください。

取扱上の注意

ご使用時にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。
またお読みになった後は、大切に保管してください。

1. 安全のために必ずお守りください。

- ■積み重ねて保管しないでください。倒れてけがをすることがあります。
- ■外周部に片寄って重い物を載せないでください。倒れてけがをすることがあります。
- ■火器のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
- ■耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- ■各部のねじ類がゆるんだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。必ず増し締めをしてください。
- ■異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてけがをすることがあります。
- ■商品に乗ったり腰をかけたりしないでください。倒れてけがをすることがあります。
- ■用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- ■分解や改造をしないでください。破損やけがをすることがあります。

2. ご使用上の注意

- ■直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- ■湿気の多い所に設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- ■板面に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。破損することがあります。

3. お手入れ方法

- ■汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞ったぬれぞうきんで拭いてください。
- ■汚れのひどい場合には薄めた中性洗剤で拭いてから固く絞ったぬれぞうきんで拭いてください。
  ご注意：シンナー・アルコール等の使用は避けてください。変色・変形や塗装がはがれる場合があります。

4. お問い合わせ先

アール・エフ・ヤマカワ株式会社　TEL：0120-204-208
受付時間：月曜日～金曜日（祝日を除く）AM9:00～PM5:00

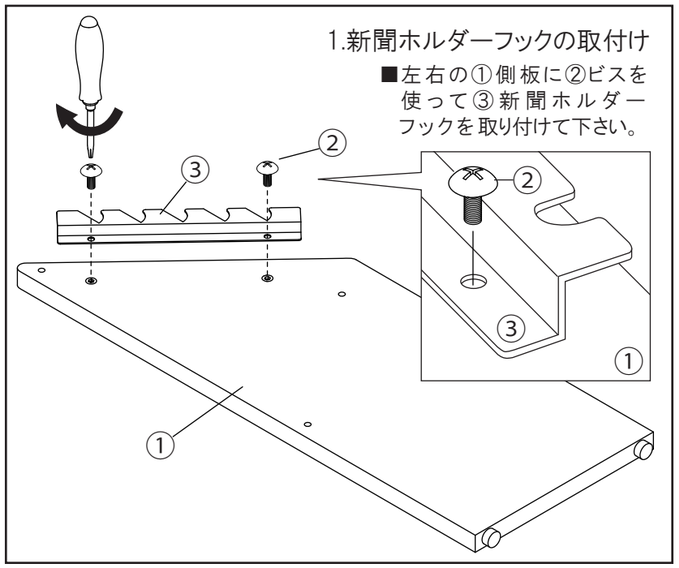
品質表示

■品名	木製新聞掛け	■材質	メラミン樹脂化粧木質ボード スチール，アルミニウム
■品番	SHSK-001D2(NJ)	■外形寸法	W660　D300　H800
■取扱上の注意	加熱した鍋や沸騰したヤカンなどを直接置かないで下さい。 水などをこぼした場合は放置せずに速やかに拭き取って下さい。		

MADE IN CHINA
20131118

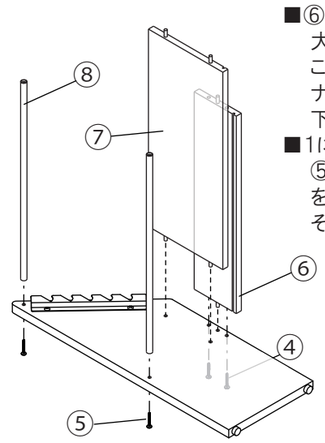
1.新聞ホルダーフックの取付け

■左右の①側板に②ビスを使って③新聞ホルダーフックを取り付けて下さい。

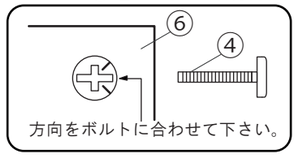


2.前板、スチールパイプの取り付け

■⑥前板1⑧スチールパイプから④ビス大⑤ビス小を取り外してください。
この際⑥前板1に付いている⑪組立ナットを落とさないよう注意して下さい。
■1に④ビス大を使って⑥前板1を、⑤ビス小を使って⑧スチールパイプを取り付けてください。
その後、⑦前板2を取り付けて下さい。

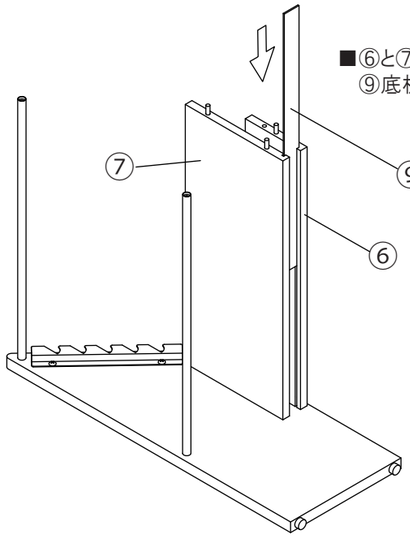


⑪組立ナットの取付方法



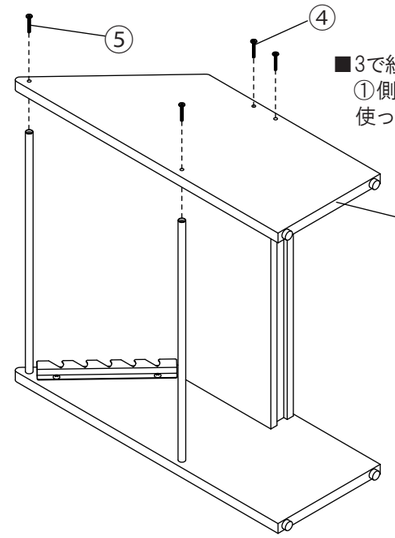
3.底板の取付け

■⑥と⑦の前板の溝に沿って、⑨底板を挿し込んで下さい。



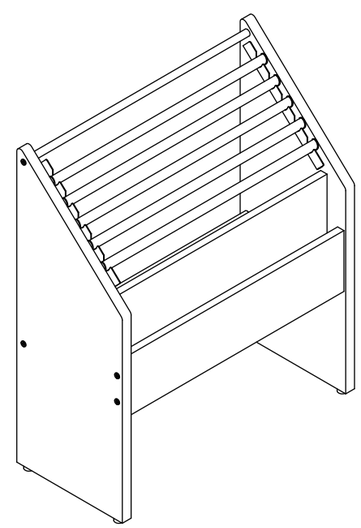
4.側板の取付け

■3で組んだ側板に、もう一方の①側板を④ビス大⑤ビス小を使って取り付けて下さい。



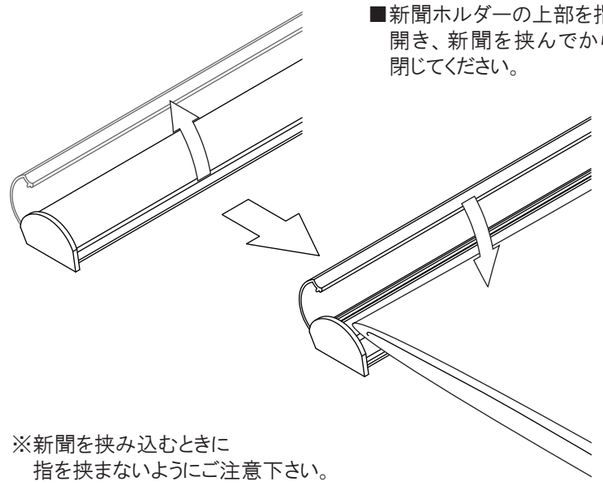
5.完成

■フックに⑩新聞ホルダーを乗せたら完成です。



6.新聞ホルダーの使い方

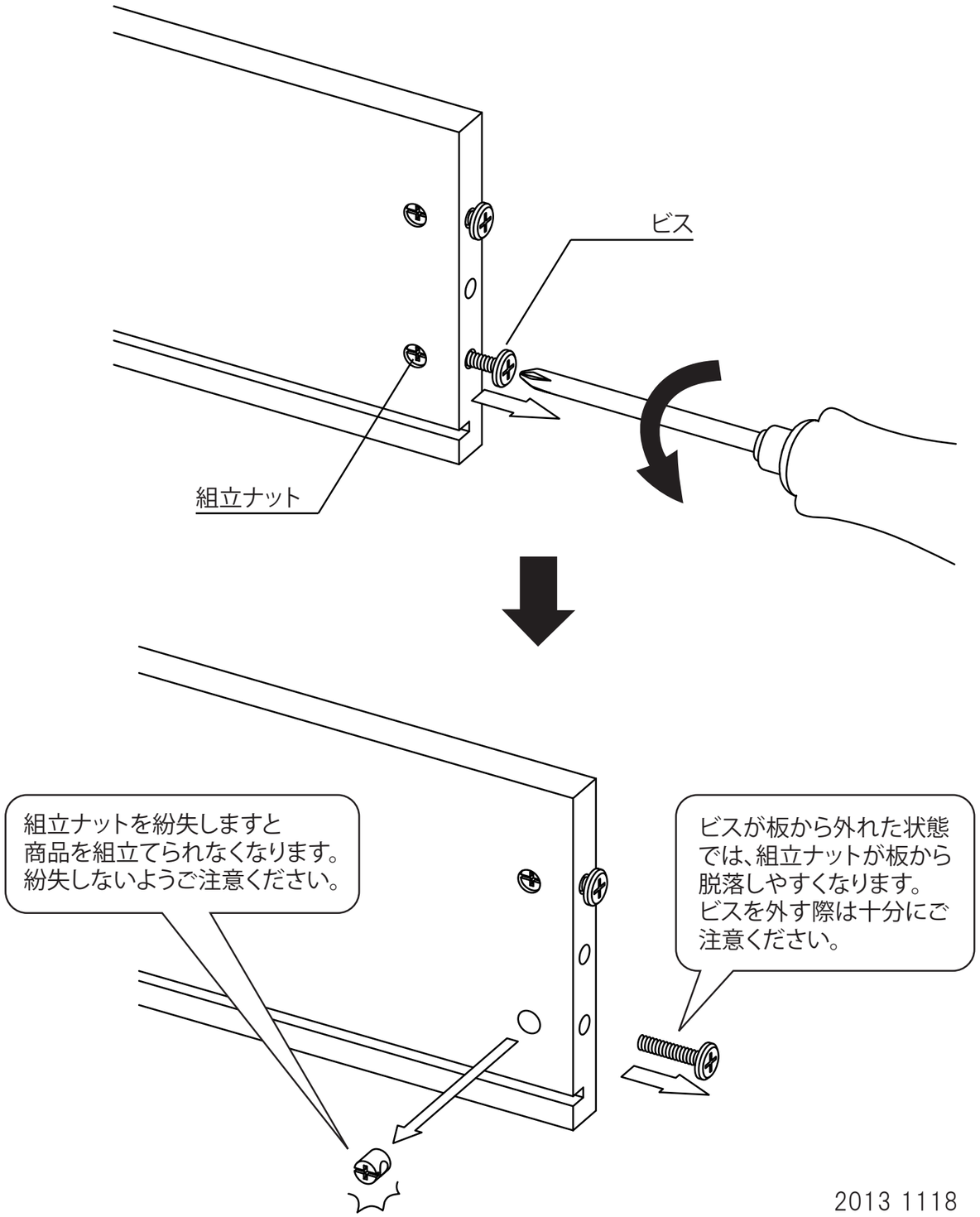
■新聞ホルダーの上部を指で開き、新聞を挟んでから、閉じてください。



※新聞を挟み込むときに
指を挟まないようにご注意下さい。

重要：ビス取り外し時の注意 (組立ての前にお読みください)

組立の際、板に取り付け済みのビスを外しますと、組立ナットが脱落しやすくなります。
紛失しないよう、十分ご注意ください。



2013 1118